

製品名: CD26 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86902**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1.9mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000
分子量	Calculated MW:87 kDa; Observed MW:120 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD26
別名	Cd26; THAM; Dpp-4
遺伝子 ID	13482
SwissProt ID	P28843
免疫原	マウス CD26 の組み換えタンパク質

背景

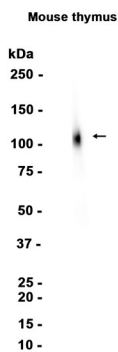
T細胞受容体（TCR）を介したT細胞活性化に必須の共刺激シグナルに関与する細胞表面糖タンパク質受容体。少なくとも

ADA、CAV1、IGF2R、および PTPRC に結合し、T 細胞共活性化の正の調節因子として作用する。CAV1 および CARD11 への結合は、T 細胞受容体/CD3 依存的に T 細胞の増殖および NF- κ B 活性化を誘導する。ADA との相互作用は、リンパ球と上皮細胞の接着も制御する。FAP と関連して、細胞外マトリックス (ECM) の細胞周囲タンパク質分解、ECM への内皮細胞の遊走および浸潤に関与する。リンパ管内皮細胞の接着、遊走、および管腔形成の促進に関与している可能性がある。

研究分野

-

画像データ



CD26 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス胸腺組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。